

お寺の子ども会 西教寺進徳 だより 西教寺蔵本通支坊 2014. 9.13 呉市中央 7-7-13 Tel 21-2798 E-mail:nikkou@saikyoji.net

西教寺蔵本通支坊 2014. 9.13 呉市中央 7-7-13 Tel 21-2798 E-mail:nikkou@saikyoji.net

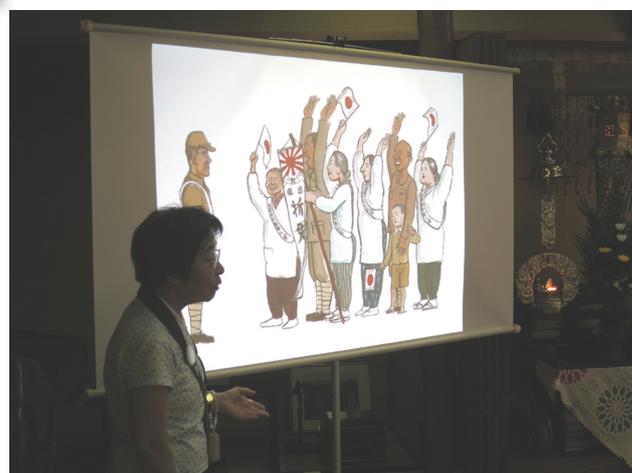
8月 夏休み合同子ども会

去る八月二十八日、蔵本通支坊で、夏休み合同子ども会が行われました。子ども二十三名が参加、今年も龍谷大学伝道部からよしーとたつくんが来てくれました。

おつとめの後はご法話（仏さまのお話）。その後、三班に分かれて室内オリンピック。よしーとたつくんの笑顔につられてか、尋常ではない盛り上がりでした。



また、今年は戦後七十年ということ、斉藤久仁子さんに、戦争になるとどうなるか、戦争体験を聞かせてもらいました。



萬万歳万歳と戦争に送り出した。でも嬉しい人はいませんでした。

斎藤さんが生まれた時にはもう戦争が始まっていて、あちこちの人が戦争にとられ（徴兵され）、たくさん戦死されました。海軍葬では一度に二五〇人の葬式をした。家ではゆくりできず、空襲警報が鳴ると防空頭巾をかぶって防空壕に入らねばならなかった。戦艦や武器を造るため、家にある金属を全部供出した。お寺も梵鐘や仏具を供出しました。戦争とは、奪うこと、壊すこ



なりました。ここ（蔵本通支坊）も焼け、長ノ木本坊本堂縁側はご遺体がびっちり並んだ。呉線は呉基地を見ないように窓が閉じられ、憲兵が見張っていた。もう制服

と、殺すこと、そしていけないことばかりすることです。七月一日深夜の呉空襲で、防空壕に逃げ酸欠になった。和庄中学校の防空壕ではた

にする布がなかった。家を失った人たちは、二軒半（畳二枚半）の三角兵舎を建てて住んだ。夜になると屋根の向こうに星が見えた。戦後日本は二度と戦争をしないという法律をつくって七十年間平和だった。でも今その法律を違う意味に読む法律を作ろうとしている。私は反対して色んなことをしていますとお話。

あと皆で分かち合うと、「戦争はいやだ」「絶対行きたくない」と口々にいい、アメリカを手伝うというのはそれは戦争していることだからやめたほうがいいなど、詳しく知っている子どもも少なくありませんでした。戦後七十年、私たちは大きな岐路に立っています。お昼ご飯の後は、かき氷大会。今年は新兵器、いや新仏器のかき氷機を購入しました。一見、昭和レトロな手動かき氷機ですが、できる氷はフワフワ（喜）。シロップも六種類で食べ放題



お店ができています。

それから今年の人形劇自分勝手なラムくん、ラムくんは振り回されるさる吉くんのお話。子どもらは、ラムくんのお友だちとして、身を乗り出し、大声で突っ込んだりアドバイスしたり、まさに当事者の一人となって学び、行動しているんだなあと感じました。楽しく色んな事を学んだ一日でした。



人形劇。ラム君とさる吉君

次回、お寺の子ども会は、10月11日（日）9時～10時です。また、「報恩講ほとけの子の集い」が12月25日（金）に決定。ご予約下さい。